

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業について

1 概要

厚生労働省では、脳卒中、心臓病等（循環器病）患者の包括的な支援体制を構築するため、専門的な知識を有し、都道府県の中心的な役割を担う医療機関に、脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置するモデル事業を 2022 年度から開始しており、全都道府県での設置を目指している。

愛知県では 2025 年度に名古屋大学医学部附属病院（脳卒中担当）及び藤田医科大学病院（心臓病担当）が採択された（2025 年度 7 月事業開始）。

2 脳卒中・心臓病等総合支援センターの主な事業内容

- ①循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置
- ②地域住民を対象とした循環器病に関する予防も含めた情報提供、普及啓発
- ③地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ④相談支援を効率的に行う資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ⑤その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

<脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ>

